

『安心して働き・暮らせる三浦半島』を目指し政策・制度要求と提言を提出

～10月15日に逗子市・葉山町・三浦市・横須賀市、22日に鎌倉市に提出～



逗子市

三浦半島地域4市1町に対して2022年度に向けた政策制度要求と提言を10月15日（金）と22日（金）に各市役所・町役場を訪れ提出するとともに、意見交換を実施しました。

15日当日は9時30分からスタートし、逗子市桐ヶ谷市長、10時30分から葉山町山梨町長、13時から三浦市吉田市長、15時から横須賀市上地市長

に「働くことを軸とした安心社会の実現」に向けて、「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」を提出しました。

三浦半島4市1町への統一要求では、地域活性化策や福祉政策・防災政策・新住居表示など計12項目を列挙し、新規として『横断歩道・歩道橋対策』『貧



葉山町

困対策』などを新たに求めました。また、自治体ごとへの個別要求では、横須賀市・三浦市へは人口減に対応した商店街活性化策や国道357号延伸、鎌倉市へは深沢新駅について、逗子市・葉山町には三浦半島中央道北側工区の早期着工などを求めました。

最後に要求と提言については各市



横須賀市

町だけではなく、三浦半島4市1町で連携や協力出来ることは一緒に行い、三浦半島全体に効果が波及できるように要請をしました。

鎌倉市には市長選挙が終わり22日16時30分に鎌倉市役所を訪れて提出しました。

また、各首長には11月8日に三浦半島地域連合が主催・開催している『4市1町政策・制度首長懇談会』への出席の協力をお願いしました。

各自治体から12月末に回答を得る予定になっています。

三浦半島地域の各自治体との連携を強化して『働くことを軸とした安心社会の実現』に繋げて行きます。



鎌倉市